



藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



放課後等デイサービス くれよん で  
運動会が開催されました！

運動会が始まるまでの準備期間中は  
フロアの装飾や看板作りなど、子ども達  
が中心となって頑張ってくれました！

いざ運動会が始まると、くれよんでは  
定番となりつつある縄を持つての台風  
の目や、運動会ではおなじみの玉入れ  
や大玉転がし、さらには『運』繋がり  
で運試しマット等、月曜日から土曜日まで  
の一週間、2階フロアと3階フロア  
に分かれて7種類の競技をしました。  
昨年のような一発逆転の特別ルールは  
ありませんでしたが、子ども達自身で

点数を計算して「今、〇〇点やから、明  
日と明後日頑張ったら追い付くな！」  
とやる気になり、競技が始まるまでの  
時間を練習時間にして本番に挑む子ど  
も達も多くなりました。  
どちらのフロアの子ども達も最後まで  
頑張り、5点差で終了となりましたが、  
練習してから挑んだこともあり、負け  
てしまっても「悔しい！」よりも

「惜しかった〜」「また次頑張ろう！」  
と前向きに取り組む姿勢が感じられま  
した。  
終わってみると、子ども達から「楽し  
かった！」という声をたくさんいただ  
きました。同時に「こうしてみたか  
った！」というアイデアや提案もいた  
だきましたので、次に開催する時には  
今回の事を活かして子ども達より楽  
しめるようにしていきたいと思いま  
す。

懇談会 ありがとうございます

長かった緊急事態宣言も落ち着き、  
くれよんでは半年に一度行っている懇  
談会を久しぶりに行うことが出来まし  
た。

今回は懇談を希望されるかどうかのア  
ンケートも含めて日程調整をさせて頂  
いたのですが、忙しい時間の中でも懇  
談を希望されるご家庭が多く、久しぶ  
りの懇談という事もあり、子供たちの  
成長がより感じられる時間となりました。

貴重なお時間をいただき、ありがとう  
ございました。

## さあ、みんなで出掛けよう！

秋になり、気候も良くなり、利用者さん達から「今年どこかいかないの？」「皆でどこかへ出かけたらい」「外でご飯を食べたい」との声が出るようになりました。

新型コロナウイルスの影響で、なかなか遠出が難しく、みんなの出掛けたい気持ちも高まっている中、第二ひらでは、お出掛けを企画しました。

利用者さん同士の会議の中、みんなで意見を出し合い、「〇〇へ行きたい」「××を食べたい」「お弁当なら△△」などなど、盛り上がりました。

1階で活動している皆さんは十一月二日に箕面へ紅葉狩りに出掛けました。

ゆっくり坂道を上がり、秋の景色を楽しみました。

木々の葉も色付き始め落ち着いた雰囲気の中、いつもと違った景色を感じる良い機会になったようですね。

3階の皆さんは2チームに分かれて鶴見緑地(さくやこのはな館)へ「秋の遠足」へ出掛けました。

十一月四日に出掛けたチームは、公園内の大きな池の周辺を散策し、水鳥が集う池や秋の空気を楽しみながら広場にシートを広げてお弁当を食べました。

十一月九日に出掛けたチームは、あいにくの雨で、植物園内を散策しました。

館内は優しい音楽が流れていて中央にカフェのようなテーブルがあり、そこでお弁当を食べて食後はコーヒータイムでリラックス、まったり落ち着いた時間を過ごしました。

皆さんの感想として「外で食べるご飯は美味しい」「また来たい」等の意見が出ました。またお出かけの機会を増やしていけたらと考えています。

鶴見緑地に行きました！

天候がとても良かったので、自然の中で昼食を食べました。(写真 左)



箕面に行ってきました！

坂道は少し大変でしたが、普段とは違う景色が見れて楽しかったです。(写真 右)

## 新型コロナウイルス 感染対策へのご協力

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が十月で解除されて以降、感染者数は減少し、二桁で推移している状況ではありますが、藍サポートネットワークとしましては引き続き、基本的な感染対策を継続して行く考えです。

感染対策の取り組みにつきましては、利用者・ご家族のご協力もあり、マスクや検温、アルコール消毒などの対策を行う事が出来ています。

また、感染の対策をとる一方で、利用者一人一人の生活の質を維持する支援についても考え、生活介護におきましては、紅葉狩りなどの外出支援を再開する事が出来ました。

今後も、事業所内での感染対策に加え、ご家族におきましても感染対策のご協力をよろしくお願ひします。

## 秋の味覚狩り週間

生活介護ひらのはでは、十月二十五日から十一月四日までを秋の味覚狩り週間として、遠足行事を企画・実施しました。

遠足場所は、事前に本人さんとご家族さんともしっかりと相談をして、万博公園と箕面の二か所に決まりました。

当日を迎えるまでの間、「十月末には気候も良く、紅葉も色付いてきて綺麗なのは」と、みんなの想像も膨らみます。

また、コロナ禍で外出規制がありお楽しみも減った中、外でご飯を食べるのも遠足の楽しみの一つでもあります。大好きなものは何度食べても大好き！といった感じで、当日のお弁当を思い思いに選んでいました。どうとう、やっと来た、遠足初日。なんと昨日まで晴れていた空は、その日に限って大雨になりました。「わあ…どしゃぶりやなあ…。」みんなの思いとは裏腹に大雨となってしまいました。



が、ここで諦める訳にはいきません。初日の箕面への遠足を室内でも楽しめる万博公園に変更し、決行しました。

せっかくここまで来たのだから楽しもうという事で、民族学博物館と好きなメニューのお弁当を食べて、皆さん楽しんでいきました。その次の日からは、昨日の雨もなかったかのように快晴が続く、万博公園グループも箕面グループも無事に遠足を楽しむ事が出来ました。

秋の味覚狩り週間始まりました！

雨が降った日もありましたが、目いっぱい楽しむ事が出来ました。

(写真右→)

自分たちで選んだ当日のお弁当。

外でご飯を食べるのも遠足の楽しみの一つですね。

(写真下↓)



民族博物館の怖そうな人形が並ぶエリアでも、そのちよつと不気味な顔をしたお面に「うふふ」と笑顔を見せる方もいて、職員もいつもとは違った皆さんの表情を見ることが出来て発見だったと話しています。

箕面グループでも、紅葉の天ぷらをたんまり購入し、お土産にして皆さんご満悦でした。

※食事のためマスク未着用ですが、屋外ということもあり対面を避け距離をとるようにして感染予防に努めています。

## 手作りの備品

ご存知でしょうか？くれよんでは、遊びや設定保育、行事に使うものを手作りしていることが多いのです！

保護者さんにとっては、スタッフとの引き継ぎの時や子ども達から「今日〇〇作ったよ」と実際に見ていただく機会がほとんどなかったと思いますので、今回しっかり紹介させていただきます。ただきたいと思います。

子ども達にとっては、自分たちで作ったという思いがあるため「大事に使おう」と意識しながら遊んでいる方も少なくありません。

作ったものを使つての行事や遊びの際には「これ〇〇の時作ったなあ！」「これ私が描いた絵や！」「これまだあるんや！」と嬉しそうな声もあります。今後もくれよんでは手作りの備品が増えていくと思いますが、思い出も増えていくといいなと思います。



①トントン相撲 ②ボーリング ③魚釣り ④千本引き ⑤千本引き(裏) ⑥夏祭り看板 ⑦ガチャガチャ

## ヘルパー日誌

### 決めるのは私

『移動支援での外出』と聞くと観光地やショッピングセンターに出掛けたりするイメージを抱く人もいらっしゃるかと思います。

もちろん、余暇を楽しむ外出は移動支援を使って支援する事が可能です。

地域生活支援センターHIRANOでは、余暇を楽しむ外出により目的をもって外出ができる移動支援に取り組んでいます。

例えば、ショッピングセンターで買い物したいで終わるのではなく、『〇〇のお店で服を買う』といった、より具体的な目的を持って移動支援に出掛ける取り組みを始めています。どのお店に出掛けるか、何をするかをやり取りできる利用者

さんとは事前に話合つて確認し、意志の表示が難しい利用者さんにはご家族への聞き取りや、過去の外出での様子を思い出し、お店や内容を決めています。より目的をもって取り組むことについて新しい試みのように見えますが、実は当たり前的事でもありません。

どうしても観光地に出掛ける、行った事が無い場所、体験したことがないことを体験してみるといった内容に注目してしまい、利用者さんのニーズに着目した支援がなかなか出ていかなかったのが現状です。

楽しむだけでなく、利用者さんのやりたいことにつきり応えられる支援作りを進めたいと考えています。